

令和2年度 第2回 学術情報ネットワーク運営・連携本部会議 議事要旨

日時： 令和3年3月4日 10:00-12:10

場所： Web会議システムにより開催

議事：

1. 前回議事要旨確認

喜連川本部長から、資料3に基づき説明があり、内容に意見があれば本日から1週間以内に事務局に連絡いただくこととして了承された。

2. 運営・連携本部会議規程の改正について【審議事項】

佐藤学術基盤課長より、資料4に基づき、運営・連携本部会議規程の改正について説明があり、次の質疑応答があった。

- ・ 第3条第5号の教員という表現は違和感がある。研究系職員等、事務職員ではないという表現で修正願いたい。
- ・ 大学理事に参加いただく可能性もあり、教員等という表現ではどうか。
- ・ 第2条にある運営を行うという表現が改正後にはないが問題ないか。
 - 機構規程では運営は機構が行うこととなっており、本部規程にも運営の表現があるのは二重規程との指摘があり、第2条も改定する。
- ・ 第3条第5号についてはメール審議とする。

3. ネットワーク事業・作業部会報告

漆谷委員（ネットワーク作業部会主査）より、資料5に基づき報告があり、以下の質疑応答があった。

- ・ P18 アクセス回線要望結果調査は、現状との比較があるとわかりやすいと考えるが何か情報はるか。
 - 400Gはゼロ、100Gは3%、40Gは0.8%、10Gはおそらく36%。1Gが現在最多で60%だが、SINET5期間中で特に私立大学や比較的小さい規模の機関による事前の10G増速が進んでいる。
- ・ 経時的に変化がわかる資料も今後あればよい。

4. クラウド事業・作業部会報告

合田委員（クラウド作業部会主査）より、資料6に基づき報告があり、以下の質疑応答があった。

- ・ チェックリストダウンロード数が増えているというのはどこを見るとわかるか。

- 厳密には、増えているのはダウンロードに必要なアカウント登録数で、ダウンロード数はチェックリスト(回答) 累積ダウンロード数グラフの2021年1月部分で少し増えている部分がダウンロード数増加として見えている。
- アカウントリクエスト数もデータとして今後あるとよい。
- ・ 暗号化スペックはクラウド部会で策定するのか。
 - 策定は情報セキュリティポリシー推進部会で行われ、その実装の検討をクラウド作業部会で行っている。
- ・ クラウド利活用セミナーにおけるオンライン会議サービス活用への参加者の伸びは、DX分野への関心が増大している傾向と考えられるので、この分野への新たな体制作りなども今後検討いただきたい。

5. セキュリティ事業・作業部会報告

岡部委員(セキュリティ作業部会主査)より、資料7に基づき報告があり、関連して以下の意見交換があった。

- ・ ハニーポットに使う、各機関のアドレスレンジはNICTに渡して対応しているケースなどもあるのか。
 - 機関側にNICTの機器を置いて対応するケースもある。また、大学が普段使っている範囲だからこそ攻撃が来るという事情もあり、単純ではない状況。
- ・ ハニーポット等自機関での計画的なセキュリティ対策実施状況を、機関のCISOには把握していただきたい、というのが今回の趣旨となる。
- ・ 歴史的経緯により、現在のCISOが必ずしも把握しないシステムが存在することもあり、NICT等がここに出た条件に合致しないアドレス範囲等のダークネットを把握している場合、その情報を共有いただきたい。また、JPCERT等への情報提供情報を含め、各機関に情報提供願いたい。
 - NII-SOCSもそのような状況にあることは承知しているが、基本的に届けがあった以外の具体的な情報は把握していない。詳細については検討させていただきたい。その上で文書通知は速やかに実施するよう進める。
- ・ 分かりやすいハニーポット等は攻撃の対象になりやすく、かつ帯域量よりパケット数の増加がすさまじい。それによって自機関に高負荷がかかっていることを通知することを優先させたい。また、興味のみでどこにも届けずテストを行う研究者もおり、その対応も重要である。
- ・ 無届で行われている問題については本件の通知によって対応し、NICT等が実施する、把握できている分については、関係者との意見交換を実施する方向でいかがか。
 - 承知した。

- ・ 運用を議論する場においては、その議論の収束に必要と思われる情報は、機密が想定される情報であっても可能な範囲で出していきたい。

6. 情報セキュリティポリシー推進部会報告

曾根委員（情報セキュリティポリシー推進部会主査）より、資料8に基づき報告があった。

7. オープンサイエンス事業・作業部会報告

山地委員（オープンサイエンス作業部会主査）より、資料9に基づき報告があり、以下の質疑応答があった。

- ・ ムーンショットに関して各機関への連絡はある予定か。
 - 今後コンタクトを取っていきたいと考えている。
- ・ 次世代学術研究プラットフォーム運営・連携本部（仮）への移行スケジュールは現在どのような状況か。
 - 2022年度開始にあわせて進める予定。

8. 学術認証事業・学術認証運営委員会報告

合田委員及び坂根学術認証推進室長より、資料10に基づき報告があった。

9. 2020年度学術情報基盤オープンフォーラム活動報告及びその他の活動について

佐藤学術基盤課長より、資料11及び資料12に基づき報告があった。

10. その他

喜連川本部長より、本務定年に伴う曾根委員の本会議委員交代について紹介があり、曾根委員から挨拶があった。

次回開催日は、後日事務局から開催候補日について案内する旨連絡があった。

以上